

2. 毎年9万人がかかっています

日本では、乳がんにかかる女性が年々増えており、今では年間約9万人の女性がかかると推定されています。

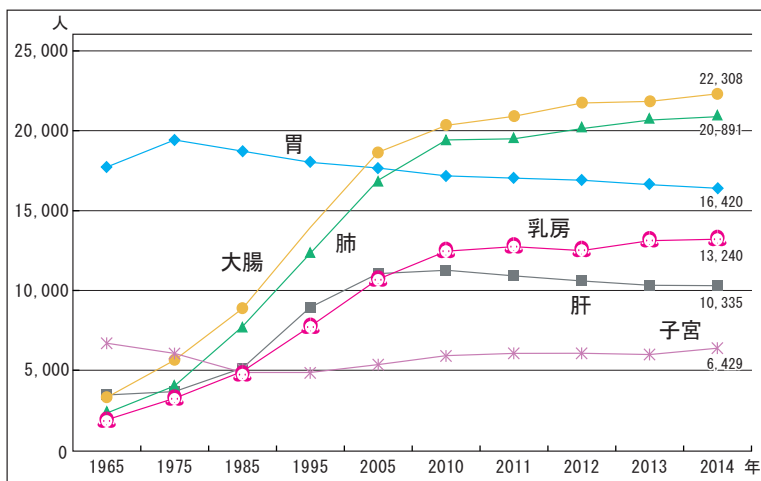
また亡くなる方も、ここ50年間で7倍にも増えています。

2014年には1万3240人の方が亡くなりました。

女性の全年齢層では大腸がんや肺がん で亡くなる方が多いのですが(グラフ1)、40歳前後を境に、乳がん で亡くなる方が増え始め(グラフ2) 30歳から64歳では、乳がんが死亡原因の第1位となっています(表1)。

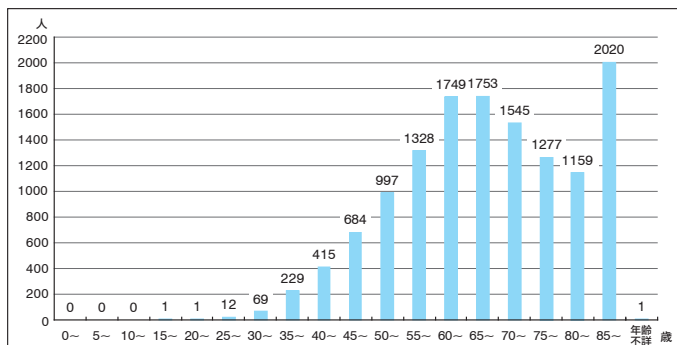
近年では50代後半、60代前半に乳がんを発生する方が増えてきています。また若い年代の乳がんにかかる率も年々上昇しています(グラフ3)。20代でかかる方は少ないとはいえ、若いときから関心をもつことが大切です。

グラフ1 女性のがん部位別死亡数の推移



厚生労働省 人口動態統計(2014年)より

グラフ2 40歳前後を境に、乳がんで亡くなる人が急激に増加します



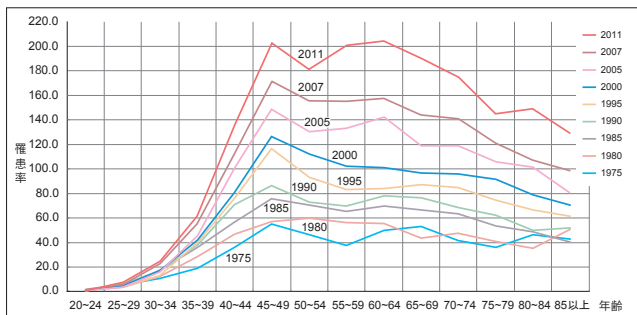
厚生労働省 人口動態統計「死因別死亡数」(2014年)より

表1 女性壮年層ではがんによる死亡原因の1位は乳がんです

20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳
白血病	白血病	乳房	乳房	乳房	乳房	乳房	乳房	乳房	乳房	肺	肺
16	24	69	229	415	684	997	1328	1749	2133	2648	3102

厚生労働省 人口動態統計「死因別死亡数」(2014年)より。数値は人数

グラフ3 乳がんにかかる率は年々上昇しています



国立がん研究センターがん対策情報センター
全国がん罹患数・率推定値(1975~2011年)より